当院ｵﾘｼﾞﾅﾙ　ｲﾝｼﾃﾞﾝﾄﾃﾞﾝﾄﾚﾎﾟｰﾄ『おっとっと』と『どっきり！ひやり』の比較･検討

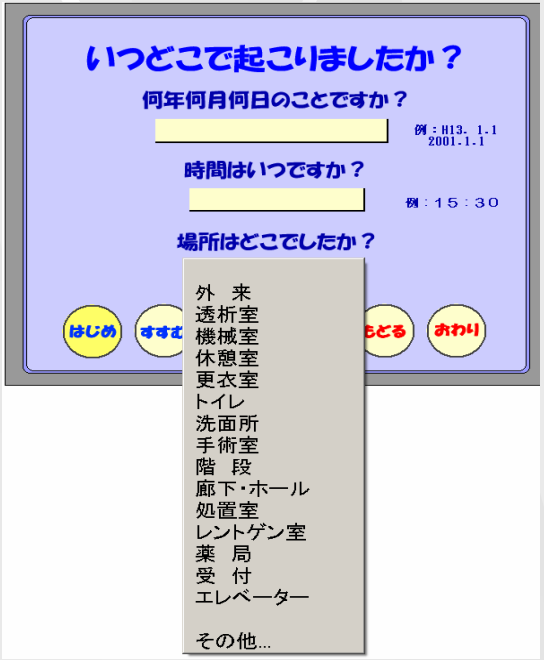
○松山 良信　宮城 智徳　渡邉 晃矢
内田 広康　西連地 康　大山 博司
大山 恵子　諸見里 仁

【目的】

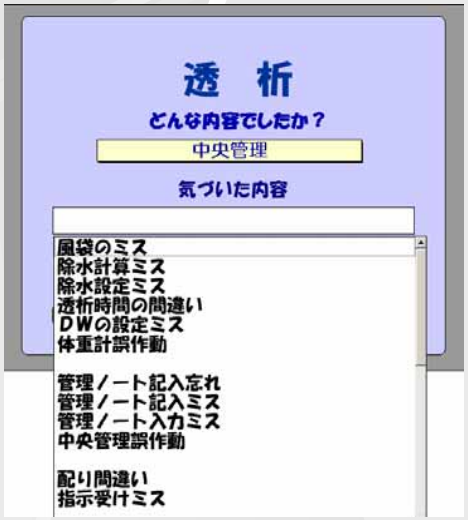
インシデント報告による業務改善は多数報告されているが、全てのインシデントが記録されているかは疑問である。

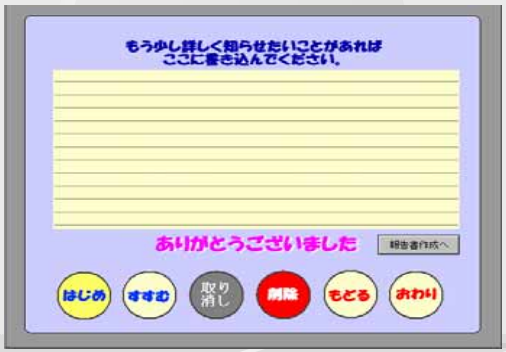
そこで簡便に短時間で入力可能な、当院オリジナインシデントレポート作成パソコンソフト『おっとっと』とキリンビール㈱との共同開発にて改良版『どっきり！ひやり』、使用結果、及び有用な業務改善を得たので報告する。

【『おっとっと』の入力画面①】



【『おっとっと』の入力画面②】





【『どっきり！ひやり』の入力画面】

【『おっとっと』と『どっきり！ひやり』の違い】

- データベースソフトの違い
- 報告者を無記名式から記名式に変更
- 自動入力の強化
- セキュリティー面の強化
- スタッフアンケートによっても使用感は同等

【方法】

- 当院は、血液透析、一般外来、訪問診療の３部門からなります。ソフトは透析部門に特化した設定になっています、『おっとっと』は２００４年１２月まで、『どっきり！ひやり』は２００５年１月より運用しています。
- 当院は透析ベッド数２１床、常勤医師３名、看護師１１名、臨床工学技士５名、検査技師、管理栄養士、事務他９名、計２８名。
- ２００５年１月より１年間の集計をとりました。

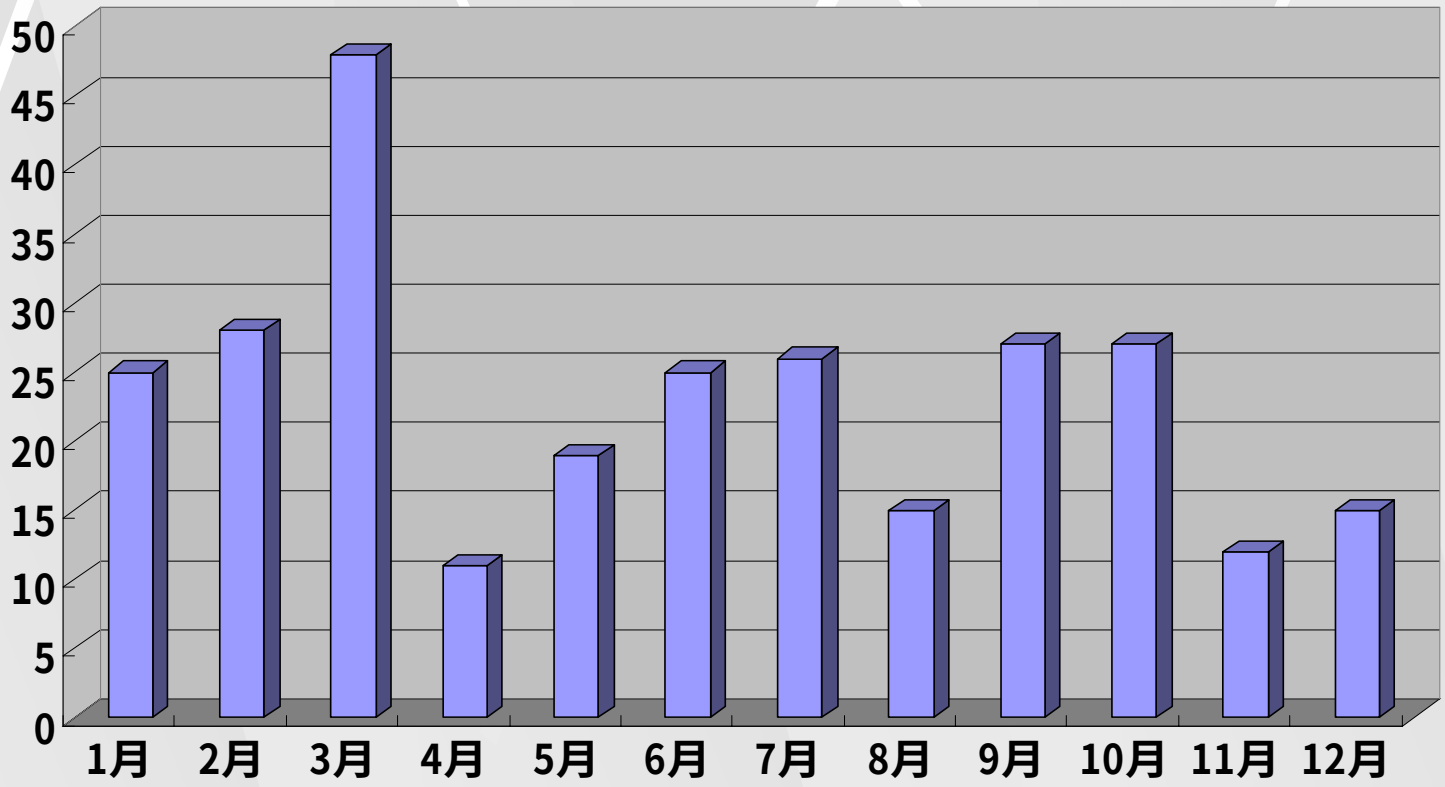
【運用】

- 入力は、インシデントが発生後、勤務に支障のない時間にすみやかに行っております。
- 週1回は管理職会議で、責任者から報告があり、必要な検討を加え、結果をスタッフへ通達しています。
- 改善策などは、『どっきり！ひやり』ノートに書き込まれ、スタフが回覧し、実施されたかどうかのチェック欄にて2週間後に確認が行われます。
- 不具合や、良い方法があれば再度検討することになります。確定した改善点は、業務マニュアルとして反映させています。解析には当院開発のソフト*『REGIA』を使用しています。

*（『REGIA』：Ryougoku East Gate Clinic Incident Analyzer

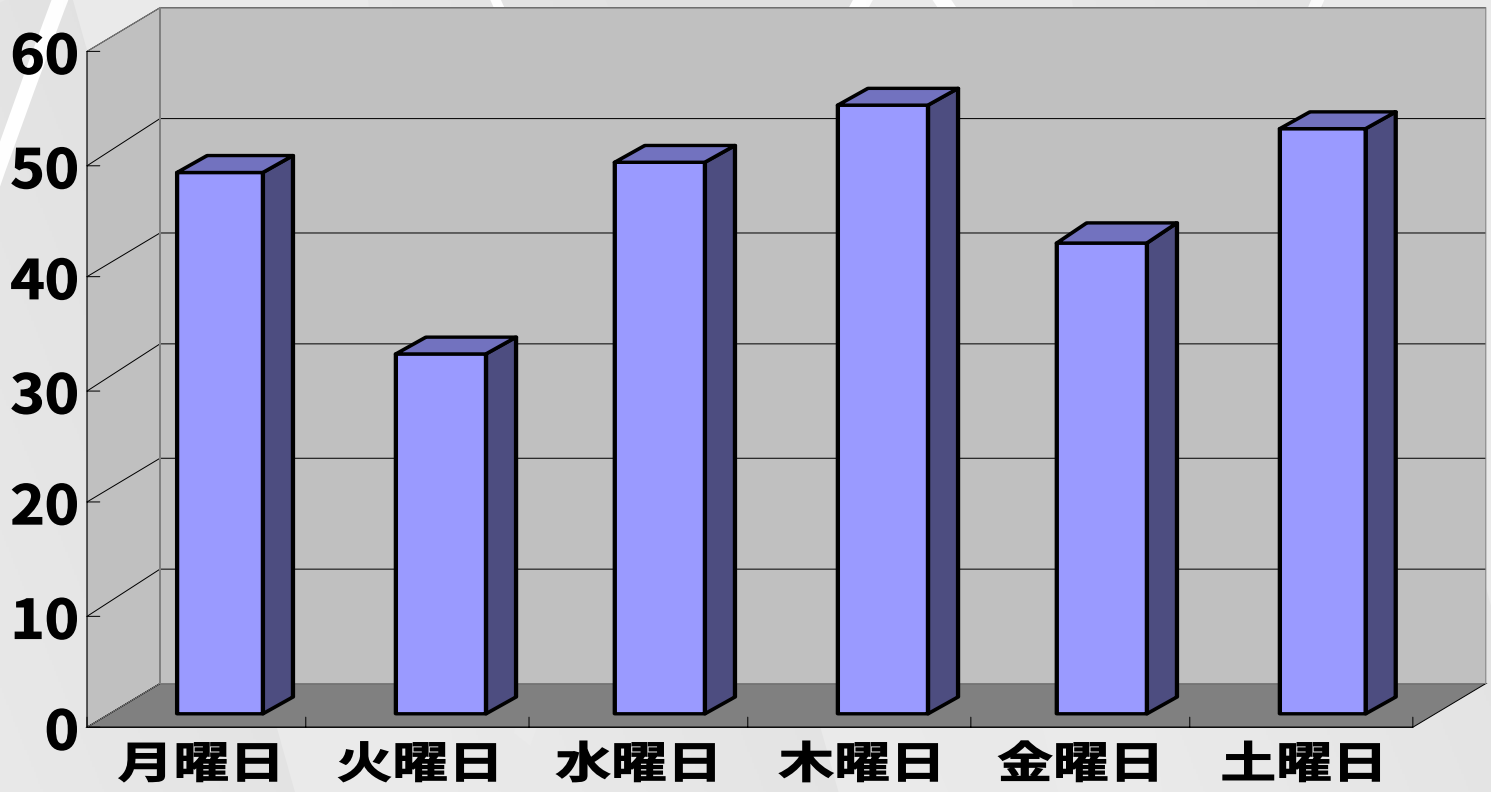
現時開発中であるが、試験運用ながら良好な操作性が得られている。）

【２００５年　月別報告件数】



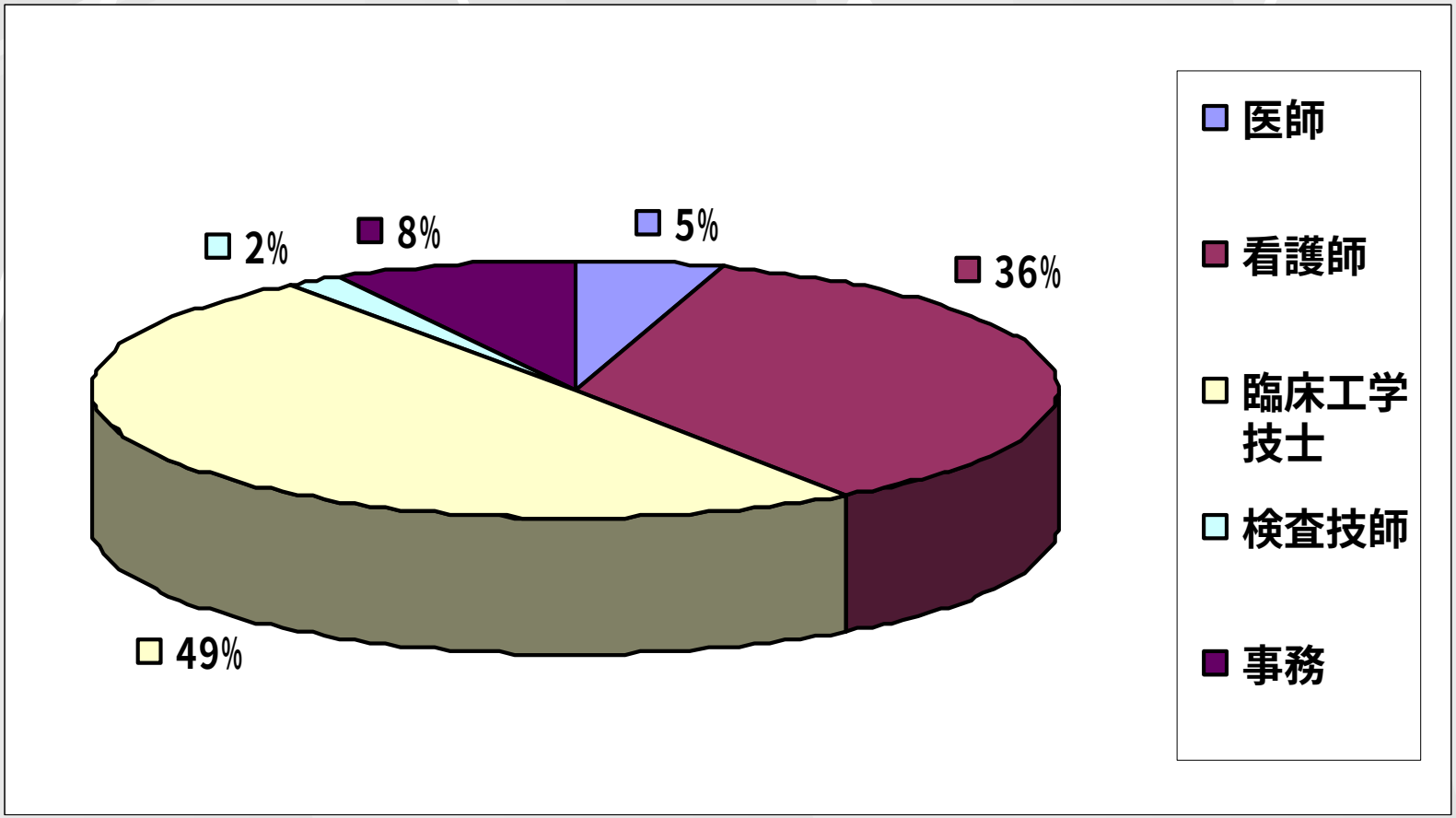
グラフ①

【２００５年　曜日別報告件数】



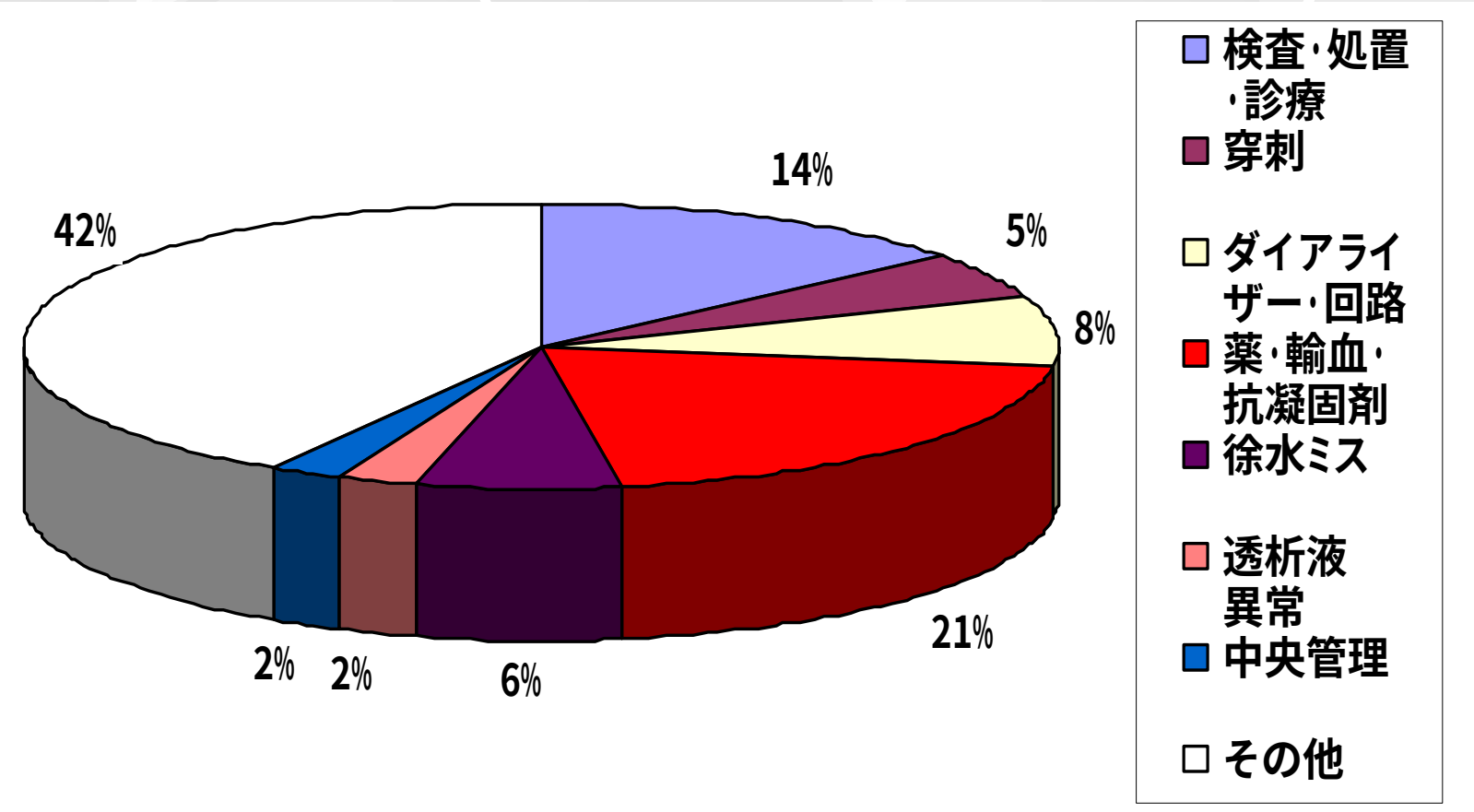
グラフ②

【２００５年　職種別報告解析】



グラフ③

【２００５年　報告内容別内訳】



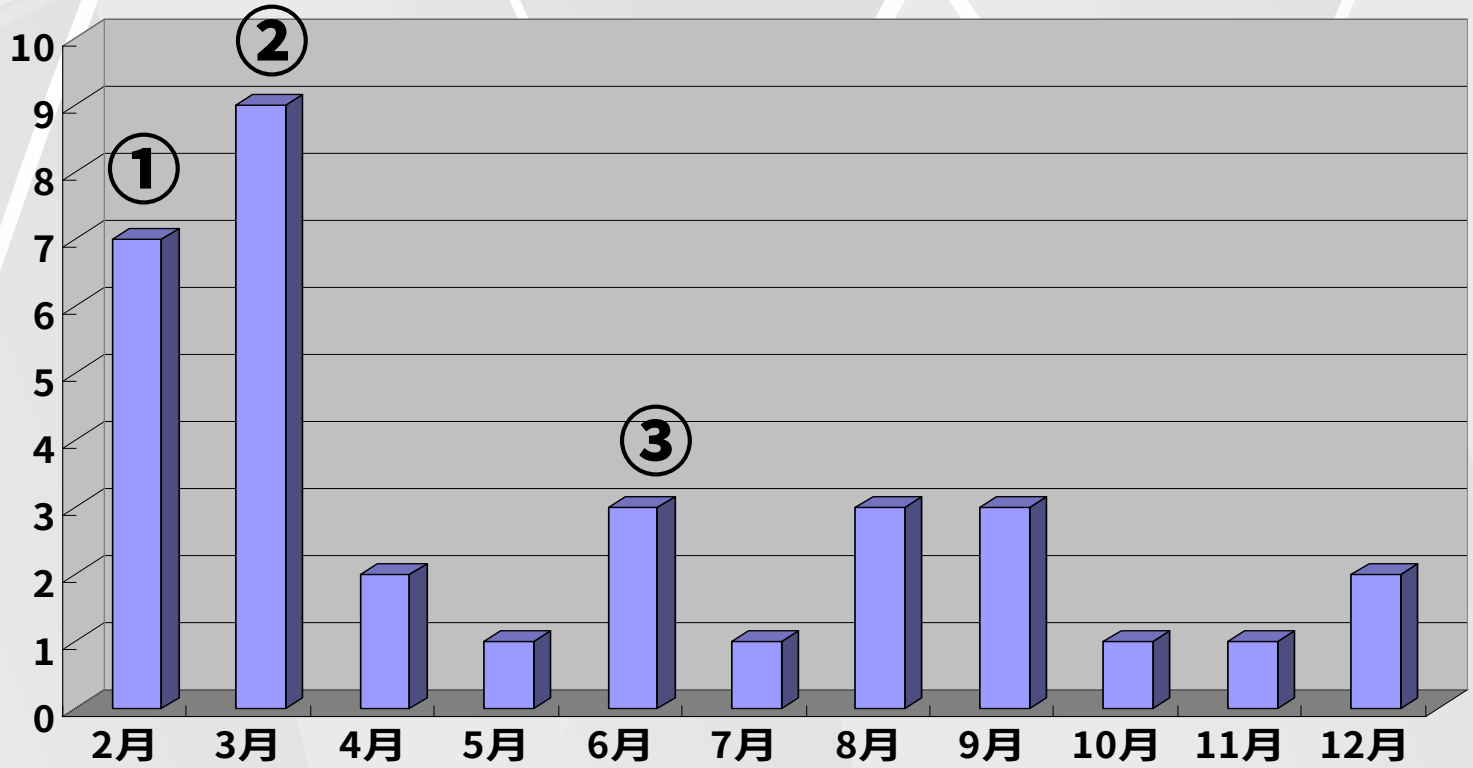
グラフ④

【解析の１例】

・２００５年1月から使用開始した『どっきり！ひやり』のデータを分析した結果全２７８件中一番多かったのが薬・輸血・抗凝固剤関係６６件でさらに解析をするとヘパリン関係３５件であった。

・透析開始時のヘパリンワンショット忘れがたびたび生じていることが判明し、これに対する対応がとられ改善されていることが『どっきり！ひやり』を用いて確認されている。

【ヘパリンワンショット忘れに対する経時的経過】



グラフ⑤

【対応の経過】

①２００５年2月より患者の透析前の状態に対応出来るように、開始時の抗凝固剤のショットをプライミング時から穿刺時に変更

②２００５年3月より技士によるＷチェックを強化

③２００５年6月より技士によるＷチェック用のチェックリストの作成、運用開始

　２００６年5月より抗凝固剤ラインのペアンを色付に変更、ショット施行後は架台に掛けるようにして視認を向上しまいした

【抗凝固剤使用に対する改善例】

- ダブルチェック

穿刺後の１０分以内に技士の一人がチェックリストを持って全ベットを回り、必要な事柄が適切に実施されているかを確認する。

(解説)

導入後のインシデントレポートからダブルチェック実施により開始時の抗凝固剤の実施忘れに関するミスが予防された内容の報告事例が増えておりバックアップ体制が有効に機能していることも確認されました。

【更なる予防策】

- 色付ペアンへの変更

  再評価の際に抗凝固剤のペアンを本年5月より色つきに変更し視認性を向上させる方法を採用しました。

  現在このような改善点を盛り込んだ透析作業マニュアルがスタッフにより作られています。基本方針としてはインシデントレポートの解析から得られた改善点を蓄積することでより簡潔で2重3重の安全機構が機能するシステムを構築することがさらに安全性を向上させるのだと考えています。

【考察】

- データーの収集、解析は『おっとっと』、『どっきり！ひやり』とも同等の結果が得られました。
- マイクロソフトアクセスを使用する事により、セキュリティー面の強化も図れました
- 『どっきり！ひやり』使用の結果から有用な改善例が得られた。
- 比較的ポピュラーなマイクロソフトアクセスを使用する事でより多くの施設での使用が可能になります。